



水辺ライフスタイルの教科書

NO.1

cafe NORA
今井風多さん

この環境がこんなに楽しめるんだってこと その共有と発信が大事

2012年7月、今井さんは家族とともに市内西浦地区へ移住。
もともとは東京で自然食品店の店長として働いていたが
2011年の震災で商品の入荷が止まるということを経験。そこで第一次産業に目が向いた。
取引先であった農家さんの屋敷、庭を借り受け、生活の拠点を移す。
現在はカフェノラの運営と並行して有機食品の卸売業、
自身の畑作業と多忙な日々を送る。

カフェノラのある場所は海岸から約30メートル、
通り抜ける潮風が海を確かに感じさせる内浦長浜地区だ。
「昔はまだ埋め立てもなく、すぐ店先の前が海だった。
ここから竿を出して釣りができるほどだったらしいんだよね。」
と今井さん。

提供するものは全て手仕事を感じさせる。
不自然さのないピュアな味付け。素直に美味しいものたち。



有機農業を通じて いろいろ繋げていきたい

「いろんなことをやってるんだけど、
じぶんの中では有機とかオーガニックが芯になっていて、
その枝葉って感じなんですよね。」
そう語る店内のインテリアや雑貨には、
そのエッセンスが散りばめられている。



日々の生活の中で見える水辺の景色に圧倒される瞬間がある

今井さんの語り口には、シンプルで健康的な清々しさがある。
「東京タワーは毎回感動できないけれど、ここの自然は毎回はっとさせられるんだよね。
もうそれだけでいいかなって思うほどに。
やっぱり都市って文化的な楽しさじゃないですか。行けば絶対楽しいんだよね。
三軒茶屋と下北沢って、距離感近いのに文化としては全然違う。
ここにはそれはないけれど、淡島越しの富士山だったり海と雲、夕日のコントラストだったり
市内を移動するだけでも水辺の表情が全く変わってくる。それだけで気分って全然変わるし。」
豊かな自然と共存している感覚があるからこそ、
自然に対する慈しみ、畏敬の気持ちもおのずと強くなるのだろう。

「この環境がこんなに楽しめるんだってこと、それを共有、発信していくことが大事だと思う。
そういう意味でこれからの目標として、新しく機能する観光案内所を作りたいですね。
箱物の紹介で終わらない、自分達目線の観光マップを持って、尚且つそこに有機的に
人が行き来できるようになったら、新しい沼津観光が見えてくるんじゃないかな。」
今井さんの目線の先の沼津とは、どんな案内所になるのだろうか。
日常を過ごしていると、まちの魅力はおろか
変化にも気づかない時がある。
きっと、今井さんの作る観光案内所は、
そんな日常に風穴を開けてくれる。
そして自分の内面には、
前よりも澄んだ風が吹くに違いないのだ。



cafe NORA (カフェ ノラ)
TEL・055-919-0684
沼津市内浦長浜 121
営業時間 土曜・日曜 11:30 ~ 18:00
定休日 月曜~金曜

Q
最近、魅力を再発見したものは？



父親から譲り受けた
NORAの歴史よりも長い看板